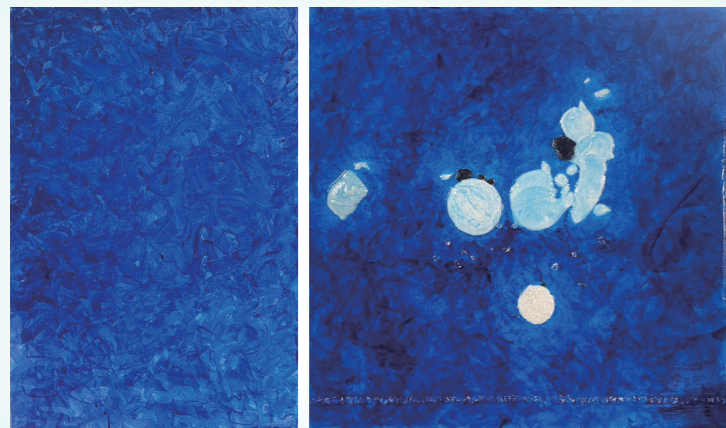
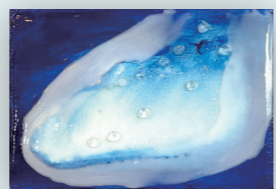


浮世絵以来の快挙

現代美術の先駆けであるヨーゼフ・ボイス(独)に影響を受け、高橋りくは美大時代より、アートから社会啓発を行ってきました。初期に数々の立体作品を発表してきた高橋は2009年、平面作品において触覚と嗅覚の組み合わせで色情報の大部分を表現する「マリス技法」を発明。この技法で描いた、触って鑑賞できる絵画は障がいの有無を取り去り、すべての人を平等に鑑賞者とすることを可能にし、高橋は世界の美術史に金字塔を打ち立てました。



2



3

Series : The hope of the polar bear

マリス技法後、新たな表現方法として
白くまの願いシリーズを制作開始

1. 《無題》2023年、アクリル・水晶・アズライト、610×1050 (mm)
2. 《無題》2023年、アクリル・水晶、333×190 (mm)
3. 《無題》2023年、アクリル・水晶、158×227 (mm)

国連ユネスコ本部で初めてスピーチをした日本人アーティスト

高橋は芸術思想表現及び芸術運動として「マリスイズム」を提唱。人種・国籍・ジェンダー・障がいの平等をテーマに、ヨーロッパを中心に活動中。2019年12月国連ユネスコ本部(パリ/仏)開催の世界フォーラム「不平等に対する挑戦」で、国際美術連盟のアーティスト代表2名の内に選出されました。代表作は、国旗を共同制作する『マリス世界国旗プロジェクト』、南相馬市に降り立つモナリザを描いた『チェンジ・ザ・ワールド』等。今回は『マスクを持つ女王エリザベス2世』の他、新たな描き方の新作もご紹介します。



現代アーティスト 高橋りく

主な活動履歴

- 2009年 人類すべてが見ることのできる絵画「マリス」発明
- 2016年 リオのパラリンピック期間中、南米最大の盲学校にて作品展開催・特別授業(リオデジャネイロ/伯)
- 2019年 世界発明コンクール「レピーヌ・コンクール」部門優勝(パリ/仏)
国際アートコンクール「第12回フィレンツェ・ビエンナーレ-レオナルド・ダ・ヴィンチ没後500周年-」主賓招待アーティスト及び総合優勝(フィレンツェ/伊)



1963年 岐阜県出身
1993年 東京造形大学彫刻科卒業
彫刻家佐藤忠良に師事
2011年 アート・スチューデントズ・リーグ・オブ・ニューヨーク 絵画留学
Charls B Hinman に師事



高橋りくHP

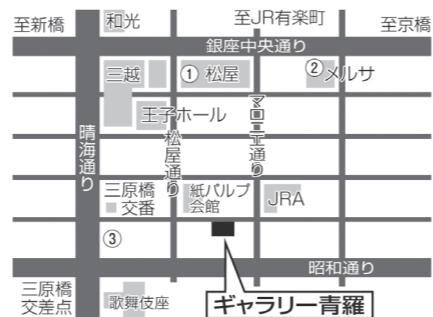


youtube

ギャラリー青羅

〒104-0061
中央区銀座3-10-19 美術家会館 1階
TEL 03-3542-3473(会場直通)
TEL 03-3542-3481(事務所)

- ① 銀座線 銀座駅(A12出口) 徒歩5分
- ② 有楽町線 銀座一丁目駅(9出口) 徒歩5分
- ③ 日比谷線 東銀座駅(A2出口) 徒歩3分



高橋りく展

マスクを持つ女王エリザベス2世



マスクを持つ女王エリザベス2世
2021年
マリス技法(砂・アクリル・水晶)
1000×803 (mm)

2024年
4月7日(日)~13日(土)

会場/ギャラリー青羅 銀座

11:00~19:00 (最終日は14:00まで)

■7日(日)17:00 オープン

オープニングパーティー

17:30~高橋りく【第1回アーティストトーク】

18:00~特別ゲスト:横澤和也/石笛演奏家

■11日(木)

17:30~高橋りく【第2回アーティストトーク】

18:15~特別ゲスト:横澤和也/石笛演奏家

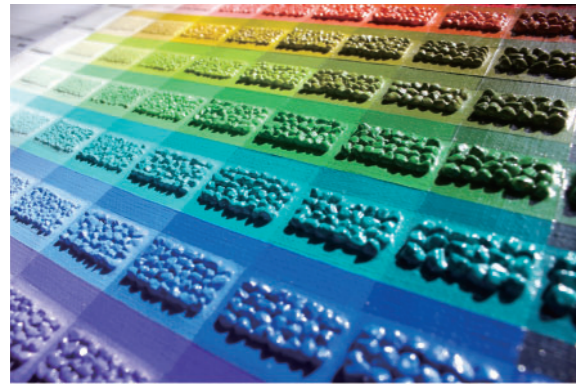
同時開催

「高橋りくの生徒たち
世田谷美術学院習作展」

本展では新作を展示します。視覚に障がいをお持ちの方は、実際に絵画に触れて鑑賞できます

主催:一般社団法人世界ダイバーシティアート学会 協力:ギャラリー青羅





© マリス世界統一基準表

マリスとは 世界初。全人類が見える絵画

マリスは、砂で描く絵画。全盲の人でも、触覚と嗅覚で色を感じることができる、世界で初めての絵画技法と絵画です。

色の濃さに対応して砂の粒度を変えることに着目し、マリス世界統一基準表をつくりました。(2009年 現代美術作家 高橋りく 発明 / 日本特許取得済)

砂粒の大きさの違いで、濃さを表します。香りの違いで、黄や赤といった色味を表します。(同色が10×5cmの面積以上の場合)

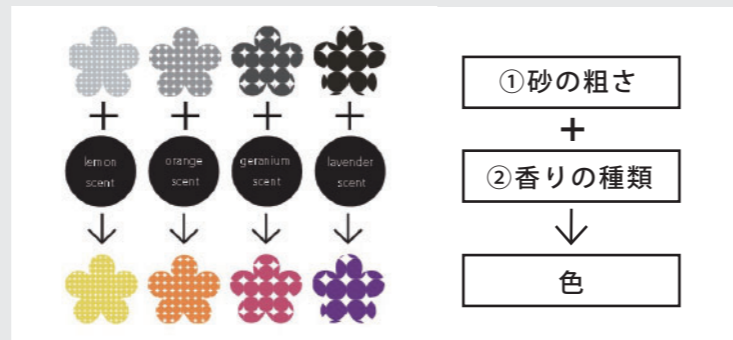
～盲学校の子供達も簡単に理解できる理由～
最低限の知識として、濃い色ほど粒が大きくなるルールだけ知っていれば誰でも鑑賞できます。

マリスは、砂の粒度と香りが対応する「マリス世界統一基準表」に則ります

「マリス世界統一基準表」の明度10段階と色相10段階は、高橋りくの基準によるものです

		マリス世界統一基準表 ©2014 Liku Maria (2021改訂)									
		明度 粒									
		細かい ← → 粗い									
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
色相	白黒	無し									
	赤	ホーリーフ									
	赤黄	オレンジ									
	黄	レモン									
	黄緑	ライム									
	緑	セージ									
	緑青	プチグレイン									
	青	フランキンセンス									
	青紫	マジョラム									
	紫	ラベンダー									
紫赤	ゼラニウム										

(単位maris)



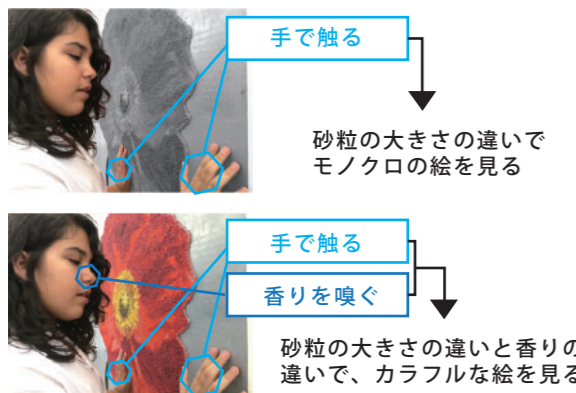
- ① 砂の粗さの違い=モノクロ絵画
- ① 砂の粗さの違い+② 香り=色どり豊かな絵画

マリス技法では色の3要素を明度85%・色相10%・彩度5%と規定。彩度5%をマリス基準表では割愛し、明度と色相のみで表現しています

色の3要素のうち、明度と色相の2つが通常人々が感じる感覚の情報のほとんどを占めています。マリスは、全盲の人の指で認識できる砂の粒度の差を利用して、色の濃さを表現しています。白から黒に近い色の濃さ10段階を、砂の大きさの違いで指に伝えます。点字は六個の突起で1文字が表記されるため、点字を読める全盲の人の指先は厳しい訓練を積んで鍛えられています。粒度の基準を設定するために日本ライトハウス情報センターの他、全盲の方々の多くの協力のもと、5年間改良を重ね、現在の改訂版マリス世界統一基準表に辿りつきました。

砂の粒度は明度(色の濃さ)を表し、香りの種類で色相(黄や赤など)を表します。例えば緑色の場合は、セージの香りのハーブエッセンシャルオイルを完成したマリス絵画の砂の表面に筆で塗布します。通常1日で消えてしまう香りですが、ハーブエッセンシャルオイルが砂と砂の間に溜まるので、何度も塗ると小さな香水瓶の蓋を開けたような状態になり、香りが長続きます。香りの感じ方は個人差があるのですが、目安として10回塗ると、嗅覚の良い人なら半年間香りを感じることができます。

? 全盲の人はどうやって絵を見るか

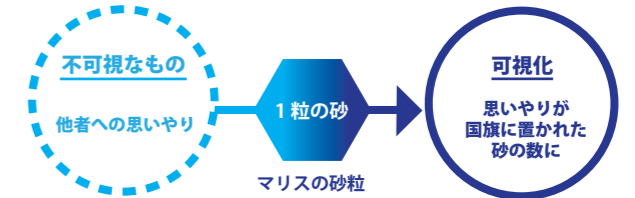


2016.9.8-23 リオ・パラリンピック期間中。南米最大のベンジャミン・コンスタン盲学校でのマリス作品展(リオデジャネイロ/ブラジル) 後援: 在リオデジャネイロ日本国総領事館 等

美術とダイバーシティ

究極の自己肯定をアートから追求するとダイバーシティに辿りつく

2018年には参加者がのべ1万人を超え、150万人の幸せを願う



マリス国旗プロジェクトの砂置きについて

マリスの国旗共同制作の砂おきは、砂1粒を1人とみなし、他国の人の幸せを願って置きます。①参加者は10人を幸せにする10粒の砂のバックを受け取ります。②キャンバスにアクリル絵具で描かれた国旗の上に、メディウムという接着の役割を果たす絵具を塗り、1粒ずつマリスの砂を置いていきます。③砂粒を置く時は外国の人に家族同様の愛を込めて幸せを願います。砂の形はいびつなので、ジグソーパズルの要領でうまく組み合わせ、砂の最も平らな部分を下にして置きます。国旗共同制作の会場ではボランティアがエスコートします。小さな子どもから大人まで、誰でも参加できることが特徴です。

思う→行動。このプロジェクトは「見知らぬ国の人」という設定を設けています。これは不特定多数の幸せを願うことを可能にし、抽象的な世界平和という言葉の理解を容易にします。見知らぬ国に住む人の「幸せ」を願い、1粒の砂を置くことは、その人自身が世界平和の行動を一步起こしたことになるのです。

砂おきに必要なのは「Love&Peace」。全ての人が家族以外の人や外国の人を、家族と同じように愛すること。そして世界中の人が、知らない誰かの幸せを願うと戦争や差別も無くなり、世界平和が実現するはずです。

マリス国旗の特徴



その国と国民の幸せを願い、1粒1粒の砂を丁寧に置いて作ります

制作の過程には、障がいの有無に関わらず、人が人を思いやる「愛」が潜む



できるだけ多くの人々が参加して作る現代美術作品の共同制作です



世界中の人が国旗を見ることが出来ます

マリスの共同制作体験者のコメント

すなはつてつよへいわをいのりながらはつつけました。これを見て、はやく、へいわになつてほしいです

砂一粒一粒 平和を祈りながらはつつけました。これを見てはやく平和になつてほしいです。

3.11被災地(日本) 10歳